

大館市教育委員会会議録

日 時 令和8年1月30日（金）
午後3時30分
場 所 長木公民館
第1・第2研修室

大館市教育委員会

大館市教育委員会会議録

1 開会の日時 及び場所	日 時	令和8年1月30日（金）	午後3時30分
	場 所	長木公民館	第1・第2研修室
2 出席委員の氏名			
教育長職務代理人	山 田 和 人	委 員	工 藤 啓 子
委 員	小笠原 正 卓	委 員	真 田 かずみ
3 欠席委員の氏名			
4 委員以外の出席者職氏名			
（なし）			
5 出席した職員の職氏名			
教 育 長	長 岐 公 二	学校教育課長補佐	工 藤 貴 胤
教 育 次 長	若 松 健 寿	生涯学習課長補佐	羽 沢 秀 則
教 育 監	野 呂 謙 一	教育総務課総務係長	三 浦 伸 介
教育総務課長	北 林 香 子		
学校教育課長	鈴 木 明		
教育研究所長	米 澤 貴 子		
生涯学習課長	畠 山 慶 子		
歴史文化課長	関 智 仁		
教育総務課長補佐	宮 崎 史 人		
6 会議録署名委員 教育長・工藤委員			
7 会 議 書 記 教育総務課 総務係長 三浦 伸介			
8 教育長報告			
(1)	一般会計補正予算（学校給食費物価高騰対策補助金追加）の専決処分について		
(2)	南種子町友好交流派遣事業について		
(3)	子どもサミット代表会議について		
(4)	第37回大館市教職員研究実践発表会について		
(5)	第52回新春書き初め交流会について		
9 議 事			
議案第1号	大館市小、中学校管理規則の一部を改正する規則案		
協議第1号	大館市民文化会館に関する条例の一部改正について		
協議第2号	令和7年度 3月補正 歳出予算要求の概要について		
10 その他			
	(口頭) 降雪による被害状況について		
	(口頭) 城西小学校通学路の歩道拡幅工事後のグリーンベルトの取扱いについて		
	(口頭) スクールバスの事故等について		
	次回	2月20日（金）	長木公民館 第1・第2研修室

教育長が教育委員会に報告する事項

令和8年1月30日

担当課（学校教育課）

報告事項	報告内容						
<p>一般会計補正予算(学校給食費物価高騰対策補助金追加)の専決処分について</p>	<p>国の交付金を財源とする一般会計補正予算（学校給食費物価高騰対策補助金追加）の専決処分を1月30日付で行いましたので報告します。</p> <p>1 品目及び改定額（税込）</p> <table border="1" data-bbox="584 636 1428 869"> <thead> <tr> <th data-bbox="584 636 892 734">品目</th> <th data-bbox="892 636 1214 734">価格改定 (11月分から)</th> <th data-bbox="1214 636 1428 734">値上げ額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="584 734 892 869">米 (100g当たり)</td> <td data-bbox="892 734 1214 869">55.08円 ⇒ <u>84.24円</u></td> <td data-bbox="1214 734 1428 869">29.16円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 10kg当たり（税込）5,508円 ⇒ 8,424円 ※ 米飯給食回数：45回程度（令和7年12月から） ※ 米100g：中学生の米飯給食1回当たりの米の分量</p> <p>2 事業費（補正額） <u>4,020千円</u> R7.12からの購入量（見込） 13,785.3kg … ① 1kg当たりの値上げ額 291.6円 … ② ① × ② ÷ <u>4,019,794円</u> … ③</p> <p>3 学校給食費の現状 (1) 小学校給食費（平均） 令和7年4月 378円 ⇒ 412円（34円増） (2) 中学校給食費（平均） 令和7年4月 411円 ⇒ 445円（34円増）</p> <p>4 児童生徒数（令和7年5月1日現在） (1) 児童数 2,258人 (2) 生徒数 1,257人 計 3,515人</p>	品目	価格改定 (11月分から)	値上げ額	米 (100g当たり)	55.08円 ⇒ <u>84.24円</u>	29.16円
品目	価格改定 (11月分から)	値上げ額					
米 (100g当たり)	55.08円 ⇒ <u>84.24円</u>	29.16円					

教育長が教育委員会に報告する事項

令和8年1月30日

担当課（学校教育課）

報告事項	報告内容
南種子町友好交流派遣事業について	<p>ふるさとに根差し、自立の気概をもった人材を育成することを目的として、1月6日から9日までの日程で、宇宙開発という共通点をもつ友好都市・鹿児島県南種子町に市内小学生15名を派遣し、地元の子どもたちと様々な体験を通じて交流を深めました。</p> <p>児童たちは種子島宇宙センターを始め、様々な施設を見学し、南種子町役場への表敬訪問や南種子町青少年交流団との交流など、温かいおもてなしを受けました。充実した交流を過ごした児童たちは疲れも見せず、笑顔で帰還しました。</p> <p>(1) 参加者 小学校5・6年生15名、引率教員3名、学校教育課職員1名、計19名</p> <p>(2) 訪問先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋久島：千尋の滝、ふるさと市場、環境文化村センター、志戸子ガジュマル公園 ・南種子町：広田遺跡ミュージアム、たねがしま赤米館、種子島宇宙センター、宇宙科学技術館、観光物産館トンミー、南種子町役場、千座の岩屋、マングローブパークなど



南種子町役場



環境文化村センター



種子島宇宙センター

教育長が教育委員会に報告する事項

令和8年1月30日

担当課（教育研究所）

報 告 事 項	報 告 内 容
子どもサミット代表会議について	<p>【日 時】 令和8年1月9日 13時30分～16時30分</p> <p>【場 所】 大館市役所 議場</p> <p>【参加者】 サミット代表委員、サミット推進委員（校長会・教頭会の各担当校長・教頭、当番校教員）、市長ほか</p> <p>【内 容】 今年度の各校の取り組みの紹介や意見交流をグループと全体で実施しました。グループ協議では、自校の取り組みについて、良いところや成果が上がっていることなどを資料にまとめ、タブレットを使用して発表し合いました。全体協議では、各校が取り組んでいる「地域貢献活動」について話し合い、自校でも取り入れてみたいことやアドバイスなどもたくさん出ていました。また、運営委員から来年度の活動が提案され、今年度の活動を継続しながら、「地域貢献活動」にも重点的に取り組んでいくことが承認されました。</p>



全体協議で意見交流



タブレットを使って取り組みを紹介



積極的に手が挙がる






サミット代表委員全員で記念撮影

教育長が教育委員会に報告する事項

令和8年1月30日

担当課（教育研究所）

報告事項	報告内容
<p>第37回大館市教職員研究実践発表会について</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 1月7日に中央公民館及びほくしか鹿鳴ホールにおいて本事業を開催し、約400名の教職員と教育関係者が参加しました。 • 就学前施設から3件、小学校から5件、中学校から3件、小・中連携校から1件、高等学校から1件、大学から1件、教育研究所から14件の取り組みについて発表が行われました。 未来大館市民の成長の軸が繋がる様々な分野の教育実践があり、教職員一人一人が学びたい講座を選択して、資質向上を図る有意義な研修となりました。 • 発表内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習指導（栄養教諭との家庭科の授業づくり） (2) 生徒指導（不登校のチーム対応、登校時の楽しみ） (3) 学校力を高める仕掛け (4) ふるさとキャリア教育（歴史文化課との連携等） (5) 小・中連携（個別の指導計画・個別の教育支援計画） (6) 就学前教育（幼保小架け橋プログラム） (7) 小学校外国語教育 (8) 校務分掌（研究主任） (9) メディアコントロール (10) 高等学校（探究活動での学びを基にした部活動での取り組み） (11) 大学（ARの体感～焼失した「大館城」を見る～） • 全体会では、あきた県庁出前講座を活用し、生活環境部自然保護課鳥獣保護管理チームによる「クマの生態や人身被害を防ぐための子どもたちへの指導」をテーマにした講話が行われました。講話の中で使用されたスライドが分かりやすく、早速学校で活用したいという声が挙がっています。
 <p>「クマの生態や人身被害を防ぐための子どもたちへの指導」をテーマにした鳥獣保護管理チームによる講話</p>	 <p>ふるさとキャリア教育の実践、ステップアップ事業で購入した半纏を着ながら熱く語る発表者</p>  <p>各分科会の実践に熱心に耳を傾ける参加者</p>

教育長が教育委員会会議に報告する事項

令和8年1月30日

担当課（中央公民館）

報告事項	報告内容
<p>第52回新春書き初め交流会について</p>	<p>1月6日（火）、中央公民館において第52回新春書き初め交流会を開催しました。本交流会は、日本の伝統文化である書に親しむとともに、世代間交流を図ることを目的として毎年実施している事業です。</p> <p>当日は市内小学校児童9名と老壮大学書道クラブ学生6名の計15名が参加し、前半は老壮大学生の助言を受けながら、児童が熱心に書き初めの練習に取り組みました。また、休憩時間には参加者同士が談笑するなど、世代を超えた交流も見られました。</p> <p>後半の清書では、各自が納得のいくまで何度も書き直して完成度の高いものに仕上げ、いずれも力強く個性あふれる作品となりました。</p> <p>なお、作品は1月7日（水）から本日1月30日（金）まで、中央公民館玄関ホール（エレベーター横のスペース）に展示しております。</p> <p>【概要】 令和8年1月6日（火） 13:30～16:00 中央公民館 第3・第4研修室</p> <p>【参加者】 老壮大学書道クラブ学生 6名 市内小学校児童 9名 (4年生4名、3年生1名、2年生4名)</p>



アドバイスを受ける児童



作品展示の様子



全員で集合写真を撮影

議 事 の 経 過	
	開会 午後3時30分
教育長	<p>ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と工藤委員にお願いします。</p> <p>会議録についていかがだったでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>それでは承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項について説明をお願いします。</p>
各課長	<p>(「(1) 一般会計補正予算(学校給食費物価高騰対策補助金追加)の専決処分について」 「(2) 南種子町友好交流派遣事業について」 「(3) 子どもサミット代表会議について」 「(4) 第37回大館市教職員研究実践発表会について」 「(5) 第52回新春書き初め交流会について」 を、資料により報告)</p>
教育長	<p>ご意見、ご質問等はございますか。</p>
委員	<p>教職員研究実践発表会には私も参加させていただきました。特に印象に残ったのが、高校生の部活動での取り組みについてです。生物部からはニホンザリガニの研究、化学部からはフキを炭にして消臭剤などに利用する研究についてそれぞれ発表がありましたが、ご説明の中で教育研究所長もおっしゃっていたとおり、来年度には総文祭を控えていますので、彼らにとってもいいプレゼンテーションの予習ができたのではないのでしょうか。</p> <p>会場の先生方からは結構厳しい質問が投げかけられて、生徒さんが答えに窮するような場面もあったのですが、総文祭では全国から高校生が集まって発表を行うため、このような場面に遭遇する可能性はあり得ますので、非常にいい経験になったと思います。</p> <p>特に生物部のニホンザリガニの研究に関してはプロトコルが出来上がっていて、もう少し修正すれば何らかの学会誌に載せられると思うレベルですので、彼らが高校3年間という短い期間に一生懸命引き継いできた研究が世の中に認められてきて、今後更に大きくなっていくことに期待が持てる内容でした。</p> <p>今後とも是非、教育委員会と高校生が交流する事業を続けていただきたいと思います。</p>
委員	<p>同じく教職員研究実践発表会について、都合により今回参加できなかったのですが、高校生の部活動での取り組みや、職業能力短大のCGによる大館</p>

	<p>城再現というのを大変楽しみにしておりました。</p> <p>実は昨年(2019年)の11月に行われた学校訪問の計画で、最後に職業能力短大も訪問先として組み込んでいただいたのですが、それまで何度も足を運んだことはあるものの、実際に大学の授業や運営についてお話を伺うのは初めてでしたので、大変勉強になりました。</p> <p>その中で、身近にある大学で最先端の技術を学ぶことができるということや、大学が地域との関わりを大切にしているというお話も伺ったのですが、今回の実践発表は正にそれだと思っております。</p> <p>私自身も学校関係者だったにも関わらず、中身について全く知らなかったということを改めて実感し、もしかすると小中学校の先生方も地域の身近にある大学についてあまりよく知らなかったのではないかと思いますので、今回そういったつながりという意味でも非常に有意義な機会だったのではないのでしょうか。また何かの機会で連携等ができればいいと思います。</p> <p>ちなみに学校訪問の際、大学の授業に50歳代の学生さんがいらっしやっってお話を伺ったのですが、学び直しをしているのだそうです。もう一度入り直して勉強しているということで、今回の件とは直接関係はありませんが、生涯学習分野のいわゆるリカレント教育などにつながるのではないかと思います次第です。</p> <p>教職員研究実践発表会について、参加させていただきありがとうございました。先生方が日々こういった取り組みをされているのかや、子どもたちの実態というのを知ることができて、私自身も大変勉強になりました。</p> <p>こういった機会を設けることで、先生方一人一人が学びたいテーマをご自身で選び、自らの資質向上につなげることで、実践活動に活かされていくのだと実感しました。</p> <p>それから中央公民館の書き初め交流会について、実は以前に老壮大学で講演をさせていただいたことがあったのですが、そのときも老壮大学の方々は本当に自立していて、様々な社会的役割や社会とのつながりを求めているということを感じることができました。</p> <p>今回の書き初め交流会のように子どもたちは学びや気づきを得て、老壮大学の皆さんはやりがいや社会的な役割を得ることができる相互のやり取りというのは、地域づくりに非常に大事なことだと感じていますので、こういった交流行事はこれからも継続していただければと思います。</p>
委員	<p>私も教職員研究実践発表会を参観させていただきました。不登校のチーム対応という発表の中で、少年相談センターの高橋先生が精力的に各学校を訪問されて、いろいろな意味で先生方にお力添えをしているということを再確認することができました。</p> <p>その中で、高橋先生も含め先生方が、この子にとって学校に来ることが本当に必要なのかどうかというところから話し合いをしているというお話があり、教育の根源的なことから先生方が自ら話し合いをして、子どもたちにとってどういう対応が一番良いのか、本当に真摯に考えてくれているというこ</p>

<p>教育長</p>	<p>とが非常に心に刺さりました。</p> <p>大館はふるさとキャリア教育を非常に宣伝していますし、注目もされているのですが、その最もベースとなる部分から先生方が一生懸命になって、何とか子どもたちを学校に通わせてあげたいという思いがあるということを変更して認識し、教育の基本的なところを大館は決してないがしろにしているということも再確認することができて、本当にいい機会だったと思います。</p> <p>また、先ほど工藤委員からもお話がありましたが、CGによる大館城の再現については、教育研究所長のオファーに職業能力短大の先生が応えてくださって本当に良かったと思っています。実際に大館城の中を歩くシミュレーションも、今の技術はここまでできるということが本当に驚きでした。平面図からしか起こせていないにも関わらず、立体的に表現する技術が既にここまで進歩していることを再確認できました。</p> <p>以前に工藤委員がおっしゃったと思うのですが、例えばQRコードを読み込めばスマホなどでお城が見られるような未来がもしあれば、そこから大館城再建に取り組む気運が高まるきっかけとなるかもしれない、そんな可能性も感じました。</p> <p>実践発表会については、かつては授業力や授業の実践発表がメインだったのですが、今回の内容を見ても分かりますとおり、現在は様々な角度から研究に取り組んでいます。</p> <p>学校というのは基本的にそういう場所だと思いますし、授業だけではなく、課題もあれば多様な子どもたちもいて、それぞれに活躍の場があるわけです。そうすると、やはり物事を多面的に捉えていかなければ適切な対応はできなくなってしまうから、様々な視点から実践発表が行われるのは望ましいことだと思います。</p> <p>授業オンリーで責められても、子どもの立場からすると困ってしまうということも出てきますので、そういった意味でも非常に多様な発表内容で良かったのではないのでしょうか。</p> <p>報告内容についてほかにございますか。</p> <p>それでは議事に移ります。はじめに、議案第1号について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>教育監</p>	<p>(「議案第1号 大館市小、中学校管理規則の一部を改正する規則案」を、資料により説明)</p>
<p>教育長</p>	<p>以上が議案第1号の説明でした。</p> <p>学校管理規則の一部を改正する規則案ということで、全部で5点、うち1点は文言の整理ですので、大きく4点を改正することになります。皆さんからご意見を承りたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>まず1点目の春季休業日についてですが、4月1日から土曜日、日曜日を</p>

教育監	<p>除く4日間ということは、春季休業日が少し増えると捉えていいでしょうか。</p> <p>お見込みのとおり、1日増えることになります。</p>
委員	<p>1日ですね。分かりました。</p> <p>それから最後の勤務時間の上限についてですが、これは計算すると私たちが言うところの残業時間という認識でよろしいですか。1か月に45時間以内、1年間で360時間以内と明記されるということで。</p>
教育監	<p>これは令和7年6月に施行された、いわゆる給特法の改正に伴うものです。教職員は残業手当が支給されない代わりに、調整額というものが支給されているのですが、その法律が改正されて、文部科学省により勤務時間の上限が定められました。残業手当は付かないのですが、正規の勤務時間外に校内で在校している時間という意味になります。</p>
委員	<p>それが1か月に45時間以内、もしくは1年間で360時間以内であるということですね。</p>
教育監	<p>そうです。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
教育長	<p>少々分かりにくい表現になっているので補足しますが、この22条の第3項の(1)は1か月の在校時間の総時間、つまりその職員の勤務実数です。勤務実数から県条例で定められた勤務時間の総数を引くということは、時間外在校時間、いわゆる規定外に働いた時間の上限が45時間と定められたということです。</p>
委員	<p>ちなみに、県条例で定められた勤務実数から引く時間というのは、何時間なのですか。</p>
教育監	<p>1日7時間45分です。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
委員	<p>国から示された負担軽減に伴っていろいろと見直しているのだと思いますが、出席停止に係る意見書という新たな様式について、今までは意見具申だったものを意見書にすることで、負担軽減の一助になるということですか。</p>
教育監	<p>出席停止については、これまで意見の具申は口頭で、通知解除のみ書面の様式があったのですが、子どもたちの教育に関わることですので、やはり口頭だけではなくきちんとした書面をもって校長に申請をし、手続きを行うと</p>

	<p>いう形で今回新規に決めました。</p>
委員	<p>これは国や県も同様に改められているのですか。</p>
教育監	<p>規定はされていませんが、先ほど申し上げた理由から、他市町村からも情報収集を行った上で、大館市として独自の様式を新たに設定したということです。</p>
委員	<p>ちなみにそういった事例は増えてきているのでしょうか。</p>
教育監	<p>増えているというよりも、そういった事例に備えて、いざというときに混乱しないように定めておくということです。</p>
教育長	<p>補足しますが、今回改定となった大きく4つの項目のうち、教職員の多忙化解消に係る改定は1点目と4点目だけです。先ほど説明のありました出席停止に関する規定と、それから学級編制に係る規定の変更については、近年教育環境や子どもの実態が変わってきていますので、これから起こりうる様々なケースを想定し、それを踏まえた上で、教職員の多忙化解消のための改定を行うタイミングに合わせて改定したという趣旨のものです。</p> <p>出席停止の案件に関しては、これまでも出席停止にするかしないかというところまで行ったケースがありましたが、従来の規定では教育委員会の判断のみで出席停止をするという流れで、実際は所属長の意見などが全く反映されないような制度になっていました。</p> <p>学校教育法35条のいわゆる性行不良による出席停止の規定では、出席停止に係る手続きは市町村教育委員会が定めた上でとされていますので、手続きを整理することで実際の学校現場の実態に合う形に改正したものです。</p> <p>3点目の学級編制に係る規定に関しては、現在の学校現場の実情が変化してきており、いわゆる仲間と上手くやれないなど、子どもの多様化も進んでいる中で、秋田県の教職員の倍率は1倍を切っている状況であり、教職員の質の低下も懸念されています。</p> <p>こうした中で、今までのように小学校1年生と2年生でクラス替えをしないという状況だと立ち行かなくなる可能性がありますから、1年でクラス替えを行いリセットすることで、学校の正常な環境が維持されることもあるだろうということも想定し、クラス替えを1年ごとに行うことをイメージした規定の変更です。</p> <p>ちなみに、法的にはクラス替えを1・2年生と続けてやらなければいけないという決まりはなくて、原則的に1年ごとに行うというのが全国的な法令の範囲です。昔は学級担任が非常に強力で、2年間続けた方が特に低学年の子どもたちはお互いのことも分かっているし、良い学級経営ができるだろうということで、秋田県は1・2年、3・4年、5・6年という形で2年間クラス替えをしないのが暗黙の了解で行われていたという経緯があるのですが、今申し上げたようにそもそも2年間続けなければいけないという決まり</p>

	<p>はどこにもなく、全国的に見ても単年度ごとにクラス替えをしている学校がかなり増えているのです。</p> <p>そういう子どもの実態、教師の実態、これからの状況などに合わせて変更できるように今回文言を整理したということです。ただし、今までやってきたことを大きく変えようと思っっているわけではありません。いざというとき、現場が2年ではなく1年でやりたいという話になったときに、それをスムーズに行えるような体制を整えておくために、文言として明記したということです。</p>
委員	<p>良く分かりました。</p>
教育長	<p>よろしいですか。</p> <p>では令和8年4月1日から施行するということでよろしくお願ひします。次に協議第1号及び第2号について、事務局から説明をお願いします。</p>
各課長	<p>(「協議第1号 大館市民文化会館に関する条例の一部改正について」 「協議第2号 令和7年度 3月補正 歳出予算要求の概要について」 を、資料により説明)</p>
教育長	<p>ただ今、事務局から説明がありましたが、まずは協議第1号についてご意見、ご質問等はございませんか。</p>
委員	<p>文化会館の利用料金を改正するということですが、例えば設備の更新を行うとなった場合は非常に高額になるでしょうから、それに向けた備えが必要だと思っのですが、設備の使用料金については値上げを考へていらっしやらないのでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>実は付属設備の使用料金についても値上げを考へたのですが、急に全て値上げになると文化会館そのものを利用してもらえなくなることが懸念されるため、今回はいわゆる貸館についてのみ10%を限度に値上げさせていただきたいという意見が指定管理者からありました。</p> <p>当課としても、急激な値上がりによって利用してもらえなくなる方がもっと困りますので、その辺も考へしまして、協議の結果、設備使用料金は据え置きとさせていただきたいと思っております。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
教育長	<p>施設維持の持続可能な範囲の改定ということですね。</p>
委員	<p>確認ですが、そうするとこの10パーセントの主な値上げの理由は人件費ですか。</p>

生涯学習課長	<p>様々な実情を考えますと、本当は20パーセントか30パーセントぐらい値上げをしないと厳しい状況なのですが、先ほど申し上げたとおり、市民の皆さんに引き続き利用してもらうことを考慮しますと、急激な値上げは難しいと思われます。</p> <p>今回の内訳としましては、最低賃金が前年度比で8パーセント程度上昇しており、それに加えて物価上昇分として日銀の展望では今後2パーセント程度で落ち着くという予測が立てられておりましたので、合わせて値上げ幅を10パーセントと設定いたしました。</p>
教育長	<p>つまり値上げ幅のほとんどは人件費の上昇分ということですね。</p>
教育次長	<p>人件費のほかに、清掃業務をはじめ様々な管理委託料がありますが、そちらの方も人件費の上昇に伴って契約額が増加していますので、主に人件費と委託料ということになります。</p>
教育長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>では次に協議第2号ですが、こちらについてはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>学校管理費について、燃料費、光熱水費の使用量増加による増額とありますが、この量というのは、例えば例年灯油を100リッター使っていた施設が、今冬は気温が低いため120リッター使うようになったというような意味での量が多くなったということですか。それとも料金の単価が高くなったということでしょうか。</p> <p>公民館費の項目では、燃料単価及び電気量単価上昇による増額と記載されていますので、こちらの量の意味は単純に使用量でよいのかを確認しておきたいのですが。</p>
学校教育課長	<p>当初予算を要求するにあたり、学校教育課所管の小・中学校費の燃料費及び光熱水費については実績に基づいて計上しているのですが、予算査定の段階である程度抑えられます。実際の使用量は要求時の実績値に近い数字となりますから、その不足分を補正で要求しているのが現状です。</p>
委員	<p>当初の予算ベースでは少なく見積もっていたけれども、やはり実際の使用量をしっかりと出すというような意味ですか。</p>
学校教育課長	<p>そのとおりでして、当初予算編成において、財政当局としても余剰が発生しないようにある程度抑えて査定を行っていますので、3月補正で実績との差を計上するのが慣例となっています。</p>
委員	<p>不足分を補っているということですね。理解しました。</p>
教育長	<p>ほかにございますか。</p>

	よろしいようですので、その他に移ります。
教育総務課長	(「降雪による被害状況について」を、口頭で報告)
教育長	ちなみに例年雪の被害というはあるのですか。
教育総務課長	ちょっとした凍結ですとか、落雪で物が破損するというのがありますが、今年は例年に比べると多いです。
教育長	ガラスも割れていますからね。
教育総務課長	そうですね。屋根から落ちた雪が積もり過ぎて、圧力で割れてしまうのですが、建物の構造上対応が難しい場合もあります。
教育長	報告を続けます。
学校教育課長	(「スクールバスの事故等について」を、口頭で報告)
教育総務課長	(「城西小学校通学路の歩道拡幅工事後のグリーンベルトの取扱いについて」を、口頭で報告)
教育長	報告を聞く限り、城西小学校通学路の歩道は自転車が行き通れないということになりますね。
教育総務課長	そうなります。
教育長	そうすると第一中学校にも指導が必要ですね。
委員	つまりあそこに限っては、自転車はグリーンベルトの部分を通るのが正解ということですね。
教育総務課長	そうですね。
教育長	口頭で3件の報告がありましたが、委員の皆さまから何かございますか。
委員	現在行われているニュージーランドに行く子どもたちの事前研修会について、私も一昨日少しだけ見学させていただきました。毎年思うのですが、各校から集まった子どもたちが、まるで同じクラスにいるような雰囲気の中で楽しく事前研修に励んでいるのは非常に頼もしく感じます。あと3回、よろしくお願いします。
教育長	今年は特に、協力してくれているALTの皆さんのおかげで非常に良い雰

<p>教育総務課長</p> <p>教育長</p>	<p>囲気で研修ができていますね。</p> <p>ほかにございますか。</p> <p>では、予定されていた議題については以上で終了いたします。</p> <p>次回の開催日程についてお願いします。</p> <p>(「来月の開催日程」について)</p> <p>それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。</p>
	<p>会議終了時刻 午後4時30分</p>